

## 【令和2年度】 指定管理者評価シート

所 管 課	川西市教育委員会 こども未来部 こども支援課
評価対象期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日

### 令和2年度 指定管理者評価シート<1> 指定概要 (指定管理者によりご記入をお願いします。)

施設概要	名 称	川西市久代児童センター
	所 在 地	兵庫県川西市久代3丁目16番30号
	設置目的	児童の健全な育成を図るため、川西市久代児童センターを設置する
利 用 料 金 制	<input checked="" type="radio"/> 非利用料金制         ・ <input type="radio"/> 一部利用料金制         ・ <input type="radio"/> 完全利用料金制	
指定管理者	名 称	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会
	所 在 地	兵庫県川西市火打1丁目12番16号
指定管理業務の内容	(1)健全な遊びを通じて児童の集団的及び個別指導に関すること。 (2)児童の体力増進の指導に関すること。 (3)子ども会、母親クラブ等の地域組織活動の育成及び助長に関すること。 (4)施設の使用許可、取り消し、その他施設の使用に関すること。 (5)施設及び付属設備の維持管理に関すること。 (6)そのほか、市長が必要と認める業務に関すること。	
指定期間	平成29年4月1日 ～ 令和4年3月31日	

A	優 良
B	良 好
C	課 題 含
D	要 改 善

施設名	川西市久代児童センター	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	川西市教育委員会 こども未来部 こども支援課	
区 分		指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
評価項目及びポイント		評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	
1 施設の設置目的の達成に関する取組み【有効性】		A		A		1 施設の設置目的の達成に関する取組み【有効性】
(1-1) 施設の設置目的である事業運営の達成		A		A		(1-1) 施設の設置目的である事業運営の達成
①法令や利用のルール、事業計画に則って施設の事業運営が適切に行われたか。また、施設を最大限に有効活用するとともに、施設の設置目的に沿った成果が得られたか。		A	児童福祉法や条例に則り、18歳未満の児童を対象に、設置目的である児童の健全な育成を図りました。 各事業に関しては、新型コロナウイルス感染対策として、開催時間の変更や参加人数制限を行うとともに事前申し込み制とし、密を避けながら行いました。また、行事においては、自宅で制作してもらったものを館内に展示しました。	A	市の設置目的に沿い、児童の健全育成に寄与し、また新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底し、事業運営に成果を得ることが出来ている。	意見なし。
②利用に係る登録方法や手続について、利用者に対し十分に周知を行い、適正な方法で行われたか。		A	初回利用の方は、川西市在住であることを確認し、登録手続きとして、住所、氏名、生年月日、連絡先電話番号を記入していただき、緊急時や忘れ物等で連絡等を行っています。また、利用時には、新型コロナウイルス感染対策として、来館時の検温、マスク着用の確認にて氏名、連絡先等の聞き取りを行いました。	A	利用に係る登録方法や利用に関し、適切かつ丁寧に対応されている。また新型コロナウイルス感染拡大防止対策も徹底されている。	意見なし。
③施設の設置目的に応じた効果的な営業や広報活動を行い、その結果、効果があったか。		A	市の広報誌や施設のホームページへの掲載と合わせて、10月からLINE配信を開始しました(計33回配信)。 おたよりや事業実施、また緊急事態宣言等で施設の閉館や事業の取りやめ等の情報を発信ができたため、保護者へより早く情報を伝えることができました。	A	広報紙への掲載など積極的に取り組まれている。また新たにLINE配信にも取り組まれており、よりタイムリーに情報発信されている。しかし、個人情報の取り扱いには十分注意していただきたい。	LINEの配信は利用者との双方向ではなく、センター側からの情報発信のみとなっている。
< 課 題 >			コロナ禍で、子育て中の親子が遊べる場所が少なくなっていることで子育て中の親子の孤立を防ぐ居場所の提供が必要です。		新たな形での居場所の提供を検討していただきたい。	意見なし。
< 改善内容 >			コロナ禍を踏まえての事業ができるように従来とは違う内容を考えていく必要があります。 内部監査を継続して実施し、より良い施設運営を行います。		新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底した、新しいあり方に期待します。	意見なし。
(1-2) 施設の利用状況及び事業への参加状況		A		A		(1-2) 施設の利用状況及び事業への参加状況
①施設の目的に則って、有効に活用(利用)されていたか。		A	新型コロナウイルス感染対策により自主事業の中止や様々な利用制限を講じながらの中、可能な限り事業を計画し支援を行いました。 なお、緊急事態宣言の発出に伴い閉館となった時期も、子育て相談事業は継続して行いました。	A	地域に根ざした運営に取り組みられ、施設の目的に沿って活用されている。	意見なし。
②施設の利用者や実施された事業への参加者数の増加、サービス利用者の利用回数の促進など創意工夫が図られたか。		A	様々な利用制限がある中でも、実施可能な事業を模索検討し、新たに、ハロウィンやクリスマスなどの季節の行事ごとに工作作品を飾ってもらうなど、人が集まることのないような事業を行いました。年3回(79人参加) 自主事業が可能な時期には、参加人数を減らして、「のびのびクラブ」(2・3歳児)と「いっしょにあそぼう！」(1歳児)対象の事業を計画し参加を募りましたが、緊急事態宣言の発出等で中止を余儀なくされ、それぞれ、年8回(96人)と4回(29人)の実施にとどまりました。 また、小学生を対象に、工作教室を年2回(22人)行いました。	B	コロナ禍での事業を感染拡大防止対策を徹底して行っていたと思いますが、利用者数は前年比44.9%と減少している。	新型コロナウイルス感染症対策として、利用者のマスクの着用の呼びかけ、機械での体温測定を実施し、館内での注意喚起を行っている。
< 課 題 >			放課後の小学生の利用において、子ども同士の距離の取り方や熱中症対策が必要な時期のボール遊び等の運動時のマスク着用など感染対策をどのようにしていくか考慮しながら見守っていく必要があります。 利用者の利便性を高めるためにも駐車場の確保が必要です。		感染拡大防止対策を徹底したうえでの事業の開催をお願いします。駐車場の確保は難しいかと思いますが、隣接施設とも協力し、利用者が来館しやすい方法の検討を望みます。	意見なし。
< 改善内容 >			コロナ禍の中で、実施可能な事業を模索し、内容や参加人数の見直しを行いました。プレイルームのおもちゃや図書室の書架の整理を行い、より利用しやすい環境を整えました。 また、感染対策のため、職員が毎日、おもちゃ・遊具や館内の消毒を行いました。		コロナ禍でも実施可能な事業の企画を期待します。	意見なし。

A	優 良
B	良 好
C	課 題 含
D	要 改 善

施設名	川西市久代児童センター	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	川西市教育委員会 こども未来部 こども支援課	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】	指定管理者一次評価 【市所管記入欄】	指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
区分								
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)		評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)			
(1-3) 利用者の満足度	A			A			(1-3) 利用者の満足度	
① 利用者の満足度を把握するため、定期的にアンケート調査などを実施したか。	A	利用されている保護者の方を対象に、3月8日から19日までアンケートを実施しました。事業回数が激減したため、事業別のアンケートは実施できませんでした。		A	利用されている保護者の方を対象にアンケートを実施したことは評価できる。		意見なし。	
② 利用者アンケート調査の結果から、施設利用者ニーズや満足度を把握し、事業の改善等が得られたか。	A	アンケートでは、新型コロナで中止になった事業の再開を希望する声がありました。現状ででき得る事業の内容の再検討や見直しを行いました。トイレの改修工事を行い、より快適に使用していただけるようになりました。		A	利用者の意見を取り入れコロナ禍でも開催できるようにするなど、ニーズにこたえようとしている。		意見なし。	
③ 利用者からの苦情に対して十分な対応がなされたか。	A	苦情は、ありませんでした。苦情があった場合は、その都度誠意をもって迅速に対応します。また、必要に応じて川西市こども・若者ステーションの判断指示を仰いでいます。		A	日々の丁寧な対応が、利用者の満足度につながっていると考えられる。		意見なし。	
④ アンケート調査以外に、さまざまな手法で利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。	A	コロナ禍で、集団での遊びが難しくなり、その機会も減りました。プレイルーム利用のお母さん達から、お友達と遊ぶ機会がほしいとの声がありました。ニーズに応えるべく、自主事業が可能な時は、まず1歳～3歳を対象としたものを実施しました。		A	アンケートのみならず、対面でコミュニケーションを図ることにより、利用者の本音の意見が聞け、ニーズが多い事業から実施されている。		意見なし。	
⑤ サービスの質を向上させるため具体的な取組みを行ったか。また、取組みの結果、どのような効果が得られたか。	A	事業実施後は、事業内容の問題点などを職員間で情報を共有しています。それによって、事業内容が参加者にとって満足度のいく良いものであったか、改善することなどを職員全員が意識する効果を得ています。		A	個々の事業運営の中で気づいた点などを、意見を出し合い、情報の共有を図ることにより、全職員の意識づけに役立っている。今後のサービス向上に期待します。		昨年度はコロナ禍によりほとんど利用できなかったが、それまではたくさん利用し、子どもが楽しんで通っていた。	
< 課 題 >			コロナ禍でのニーズに応えるよう、実施可能な事業を模索検討していくことが必要です。駐車場は、老人福祉センターと共用で4台分しかなく、来所されるときは、公共交通機関を利用いただくようお願いをしています。駐車場の確保が課題です。			コロナ禍でのニーズの把握、および実施方法の検討、開催を期待します。駐車場の確保は難しいかと思いますが、隣接施設とも協力し、利用者が来館しやすい方法の検討を望みます。	意見なし。	
< 改善内容 >			プレイルームの利用者や、小学生の放課後利用者に個別に声をかけたり、きめ細かい対応ができました。トイレの改修工事を行い、和式トイレから洋式トイレになりました。また、一部は温水シャワー付きになり、こどもの便座も設置されました。			利用者のニーズに対応した改善を期待します。	意見なし。	
2 効率性の向上に関する取組み 【効率性】	A			A			2 効率性の向上に関する取組み 【効率性】	
(2-1) 経費の節減	A			A			(2-1) 経費の節減	
① 施設の管理運営に関し、経費を効率的に節減するための十分な取組みが行われ、その効果が得られたか。	A	水道光熱費については、年間を通じて職員各自が意識して節減しました。利用者がいない時間は、部屋の照明を消し冷暖房を入れないようにして節電に努めています。		A	今後も経費が最小限になるような運営を期待します。		意見なし。	
② 管理運営業務の遂行にあたり、業者発注や業務委託により行われる場合、適切な水準で行われ、経費が最小限となるような競争が行われたか。	A	職員は、常に経費の節減を意識して、修理や物品購入時は、必ず相見積りを行いました。コロナ禍で消毒液やペーパータオルなどの経費が増えましたが、ペーパータオルは、近隣のホームセンターの特売など安価な日に購入に努めました。		A	経費節減を常に念頭に置かれ、努力されている。コロナ対策の補助金なども活用し、今後も経費が最小限になるような運営を期待します。		意見なし。	
< 課 題 >			建物は35年が経過し、老朽化が進行しています。今後は修繕箇所が増加が見込まれます。安全面など、必要に応じて川西市と協議しながら改修等に取り組めます。			経年劣化による、修繕費の増加、使い勝手の悪さがあるかと思っています。	意見なし。	
< 改善内容 >			日常の清掃は、シルバー人材センターの設立趣旨に賛同し、委託していますが、通常清掃以外のワックスがけやガラス清掃等については、本年度も継続して一般清掃会社との相見積りにより、安価な業者に委託しました。また、4月及び5月の閉館中は、シルバー人材センターの日常清掃及び土曜開所の受付業務は、シルバー人材センターと協議のうえ中止しました。			相見積りもとったり、開館状況に応じて委託内容を変更するなど、経費の削減を積極的に実施している。	意見なし。	

A	優 良
B	良 好
C	課 題 含
D	要 改 善

施設名	川西市久代児童センター	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	川西市教育委員会 こども未来部 こども支援課	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】	指定管理者一次評価 【市所管記入欄】	指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
区分								
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)		評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)			
(2-2) 収入の増加	評価なし			評価なし			(2-2) 収入の増加	
① 収入を増加させるための具体的な方法の検討や取り組みを行ったか。								
② 収入の増加など取り組みの効果は得られたか。								
< 課 題 >								
< 改善内容 >								
(2-3) 収支のバランスなど	評価なし			評価なし			(2-3) 収支のバランスなど	
① 収支のバランスは、適切であったか。								
② 費用対効果を考えながら、経費の効果的で効率的な執行が行われたか。								
③ 収支の内容に不適切な点はなかったか。								
< 課 題 >								
< 改善内容 >								
3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み【適正性】	A			A			3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み【適正性】	
(3-1) 管理運営の実施状況	A			A			(3-1) 管理運営の実施状況	
① 法令や市等の指導に基づき、施設の管理運営に、適切な人員配置をされていたか。	A	児童センターは3名の職員配置でしたが、内1名が病気療養になったため、11月から臨時職員を配置しました。所長、事務員は老人福祉センターと兼務でした。事故防止や安全面、事務事業を円滑な運営のため、併設の老人センターとの連携協力を行っています。		A	老人福祉センターと一体的な運用に取り組み、連携を図りながら効率的な管理運営が出来ている。		意見なし。	
② 法令や市等の指導に基づき、業務に必要な研修・教育が適切に行われたか。	A	「児童厚生員研修会」、「児童館連絡協議会総会」、「第三者評価活用セミナー」、市教育委員会の新型コロナウイルス感染予防研修会」、社協法人内部の「さくら園公開講座」等に参加し、業務に活かしました。		A	研修に積極的に参加され、研鑽を積み、業務の向上に役立っている。		意見なし。	
③ 経費の節減やサービス提供の質など、管理運営が適切に行われていたか。	A	修繕や物品購入については、相見積もりを取り、安価な業者を選びました。年に1回利用者アンケートを実施し、利用者の意見を把握した上で、サービスの質の向上に努めました。新型コロナ感染対策として、常に換気や消毒、空調管理を行いました。		A	相見積もりをとるなど、経費の削減を積極的に実施している。また、アンケートを実施し、サービス提供の質の向上を図るなど、管理運営が適切に行われている。		意見なし。	
④ 施設の良好な管理運営を進めるため、新たな取り組みについて、指定管理者自ら提案・検討を進め、実施されたか。	A	新型コロナ感染対策として、部屋の換気やおもちゃ、手すりや机等の消毒を職員が毎日行い安心して利用できる体制をとりました。		A	新型コロナウイルス感染拡大防止対策が適切に行われている。		意見なし。	
< 課 題 >			施設内での事故等防止のため、児童センター及び老人福祉センター職員が、今まで以上に連携して施設内巡回の頻度を上げる必要があります。		限られた人員の中で適切な管理運営を維持していく必要がある。		意見なし。	
< 改善内容 >			児童センターとしての機能や役割を果たせるよう、児童センター職員と老人福祉センター職員が協力し合いながら業務を遂行しています。		一体的な施設の管理運営を引き続きお願いする。		意見なし。	

A	優 良
B	良 好
C	課 題 含
D	要 改 善

施設名	川西市久代児童センター	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	川西市教育委員会 こども未来部 こども支援課	区分	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】	指定管理者一次評価	【市所管記入欄】	指定管理者二次評価	【外部評価者記入欄】
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)							
(3-2) 法令順守、個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用など	A		A							(3-2) 法令順守、個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用など	
①法令に沿った適正な事業の実施を行うだけでなく、チェック体制などの整備や機能をさせているか。	A	初回利用時には、川西市在住であることを確認し、登録手続きを行いご利用いただいています。 また、法令に従った施設運営だけでなく、適切な業務を行うために、年1回社協本部による内部監査を実施し、改善に努めています。	A	法令に則り、適正な管理運営を行い、そのチェック体制が出来ている。						意見なし。	
②施設利用者の個人情報保護などの取扱いが適切に行われているか。	A	個人情報に関しては、施錠できるロッカーに保管し、外部への持ち出しを禁止しています。	A	利用者の個人情報に配慮し、適切に取り扱われている。						意見なし。	
③日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されているか。	A	乳幼児の保護者には、常に子どもの見守りをしていただくようお願いしています。 児童に関しては、ケガや子ども同士での喧嘩等が起きないように、職員が館内の巡回を行い声かけや見守りを行っています。	B	事故防止にむけて安全対策に取り組まれているが、利用者の不注意による事故が発生しており、今後さらに見守り体制を強化していただきたい。また、AEDが設置されているので、定期的に講習を受け、正しく使用できるようにお願いしたい。						小学生がプレイルームのおもちゃを持ちだし、遊んでいたところ、窓ガラスに当たり割れるという事故が発生したが幸いケガ人はいなかった。	
④防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であるか。	A	閉館後や休日の警備はアルソックに委託しています。 消防署立ち会いのもと、隣接のアソシア・ジョブ川西と共同で避難訓練を実施し、火災時の避難、誘導、通報、消火訓練を行っています。	A	年間を通じて安全対策に取り組まれている。不審者対応訓練等も検討していただきたい。						意見なし。	
⑤事故発生時や非常災害時の対応についてマニュアルを作成するなど適切な対応ができるように整備しているか。	A	事故発生時(ケガや体調不良)、非常災害時対応のマニュアルやヒヤリハットのノートの作成、新型コロナウイルス感染症対策の冊子等も閲覧し職員が情報を共有しています。 また、年2回利用者の協力を経て消防訓練を実施し非常災害に備えています。	A	毎月の設備点検、ヒヤリハットの共有、新型コロナウイルス感染症対策など職員が一体となり、施設の運営が適切に行われている。						意見なし。	
⑥利用者を限定しない施設では、利用者が平等に利用できるよう配慮したか。	A	児童の遊具(ボールやバドミントン)、卓球台(3台)、ビリヤード台(中学生以上の)の利用は、時間制限を行い、子ども達が平等に利用できるよう配慮しています。	A	利用者が平等に施設利用できるよう、施設運営者はルールを決め配慮している。						意見なし。	
⑦利用者が限定される施設では、利用者の選定を公平でかつ適切に実施したか。		非該当		非該当						意見なし。	
< 課 題 >		法令順守、個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用などは、常に全職員が意識し、継続的に取り組むことが重要です。 また、不審者対応訓練の実施が必要です。		継続的な取り組みが出来ている。不審者対応訓練はぜひ実施していただきたい。						小学生がプレイルームのおもちゃを持ちだし、遊んでいたところ、窓ガラスに当たり割れるという事故が発生したが幸いケガ人はいなかった。	
< 改善内容 >		小学生がプレイルームのおもちゃを持ちだし、遊んでいたところ、窓ガラスに当たり割れるという事故がありました。それ以後は、プレイルームの利用がない場合には、部屋を施錠するとともに職員の見守りも強化しました。 また年1回、社協本部によって法令順守、個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用などが内部で監査され改善し、適正に施設運営を行っています。		意識の高さは評価できるが、今後事故などが発生しないためのさらなる危機管理体制強化を期待します。						事故の再発防止として、見守りと使用していない部屋を施錠するよう対策することとした。	

A	優 良
B	良 好
C	課 題 含
D	要 改 善

施設名	川西市久代児童センター	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	川西市教育委員会 こども未来部 こども支援課	
区 分	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】			指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)		評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	
総 合 評 価	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】			指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
評価ランク	A			A		
・評価できる内容	<p>こども若者ステーションと綿密に連絡を取り、市の方針に従って事業をすすめました。新型コロナウイルス感染対策として、入館時の検温やマスクの着用、部屋の大きさに応じて利用人数の制限などを実施しました。</p> <p>また、使用済みのおもちゃや遊具の消毒に加え、館内の備品の消毒も職員が毎日徹底して行いました。</p> <p>コロナ禍において、事業の内容の見直しや、実施可能な新たな事業の実施に取り組みました。自主事業再開にあたっては、利用者のニーズに添うような事業を優先して実施しました。</p> <p>利用者への情報をいち早く伝えることができるよう10月からLINE配信を開始しました(計33回配信)。</p>			<p>数多くの事業を事故やトラブルなく実施できている。利用者のニーズを踏まえ、変更されている点など評価します。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策も徹底されています。</p>		意見なし。
・令和2年度に改善した内容	<p>対面での事業ができなくなったため、新たに、クリスマスなどの季節の行事ごとに工作作品を飾ってもらうなど、人が集まることのないような事業を行いました。年3回(79人参加)</p> <p>トイレの改修工事を行い、和式トイレから洋式トイレになりました。また、一部は温水便座になり、こども用の便座も設置されました。</p> <p>利用者への情報発信を市広報誌やHP掲載に加え、10月からLINE配信を開始しました(計33回配信)。</p>			<p>コロナ禍での事業の実施方法を検討し、実施されている。LINE配信という、新たな情報発信も展開されている。</p>		意見なし。
・令和2年度に改善したことによる効果	<p>コロナ禍において、来館が難しかった利用者が、季節の行事ごとの工作事業に参加することで、来館する機会が得られるとともに、直接、話しを聞くことができました。</p> <p>トイレは、ウォシュレット付きのトイレになったことで、快適に利用していただけるようになりました。</p> <p>10月からLINE配信を開始したことにより、利用者へいち早く情報を伝えることができ、利用者から施設へ確認が減り、利便性が向上しました。</p>			<p>感染拡大防止対策を徹底したうえで開館し、利用者サービスにつなげている。また、新たな情報発信ツールを使用することで、利用者の利便性も向上されている。</p>		意見なし。
・問題があり次年度以降改善が必要な点	<p>18歳までを対象とする児童センターとしては、中高生の利用をいかに増やすかが課題です。</p> <p>コロナ禍にあつては、放課後の小学生の利用の際の感染予防に配慮が必要です。</p>			<p>地域での継続的な支援のため、今後も問題意識を持ち、取り組んで欲しい。</p>		意見なし。
・改善方法とその時期	<p>中高生の利用については、自習室としての利用や夏休みなどの長期休みの利用を伸ばすためのPRなどを進めていく必要があります。時期はコロナ収束後を考えていきます。</p> <p>小学生が利用する際は、こども同士が密にならないように感染対策に気をつけるとともに熱中症対策にも配慮し、必要に応じて声掛けを行っています。</p>			<p>今後も地域に根ざした事業を実施する方向でお願いしたい。中・高生の居場所としての役割も期待します。</p>		意見なし。

【記入上の留意点】

- (1) 指定管理者は、自己評価記入欄に、市所管課は、一次評価記入欄に評価を記入いただけますようお願いいたします。  
(2) 水色の表観覧にはドロップダウンで評価(A、B、C、D)が選択できます。評価欄の濃淡ピンク色の部分は、水色の部分に評価を入力すると自動的に総合評価が表示されます。